

甲佐町オレンジ通信

令和4年12月 甲佐町地域包括支援センター

第7号(通巻第77号)

認知症の方の立場で話を聞くことについて



まもなくお正月です。年末年始は忙しいことと思いますが、高齢のご家族とお話をする良い機会だと思えます。

そんな時に活用できる認知症の方とのコミュニケーション法についてご紹介しましょう。

認知症になると、見当識障害といって時間や場所、人に見当がつかなくなります。また、記憶障がいですぐに脳の引き出しから、人の名前や出来事などが浮かびにくくなるのです。

まず、あいさつは自分から名乗りましょう。「お久しぶりです。〇〇です。」

次に、季節のあいさつを入れてみましょう。「新年あけましておめでとうございます。お身体の調子はどうですか？」そして、ご自身の近況や昔の楽しい話題をゆっくり話してみましょう。

お孫さんなどの話をする際、一緒に会えない時は特に写真などを使ってお話ししましょう。

施設にあいさつに行く時は、差し入れなどは施設の方に聞いてから持参しましょう。感染予防の観点や健康状態によっては、差し入れにも気を配る必要があります。

もう一つ、高齢の認知症の方にとって家族と別れる時はとても寂しいものです。

そこで、「元気でいてくれると嬉しいよ。いつも感謝しているよ。」など感謝の気持ちを伝えておきましょう。

これは、高齢の家族を持つ者の覚悟として、いつ、何があっても後悔しないようにするためと、本人が温かい気持ちで、見送ることができるようにするためです。

認知症の方は、記憶は消えても感情は残ると言います。温かい感情が残るようにしてあげたいですね。

甲佐町地域包括支援センターでは、6月から月に1回、全10回にわたって認知症に関する情報「甲佐町オレンジ通信」を発行します。



お問い合わせ先
甲佐町地域包括支援センター
(甲佐町役場 福祉課)
TEL 234-1114